

学力向上に向けた取組の重点

美作市立勝田中学校

「3つの柱」と「1つの工夫」

3つの柱 すべての学年、すべての教科で… 教科横断的に取り組む。

1 『教師の温かいまなざし』を基盤として

- わからせたいという教師の熱意
- 生徒一人一人を認め、その「よさ」を評価する。
(小さなものさしで)

2 『明快な目標の提示』と『最後の評価』の一体化

- 生徒自身が「何ができればよいか」がわかる到達目標の設定
- 単位時間内での形成的な評価
- 生徒自身の振り返りや自己評価の場の設定
- 最後の評価を次の活動へつなぐ工夫と手立て
(家庭学習につなぐ工夫)

3 『生徒主体の学習活動』・『学び合い』の場の設定と工夫

- 3人から4人の学び合い(班学習)・ペアでの伝え合い
- 「個」→「グループ」→「全体」→「個」の思考の流れ・思考の深化
- ホワイトボード・ICT機器などの活用
- 個と個、個と集団をつなぐ手立て

1つの工夫 各教科で、項目を1つ設定し、主体的に研究実践を図る。

教科	工夫	教科	工夫
国語	書く力をつける	保体	考えて活動するようにワークシートを用いる。
数学	教材・教具の工夫(具体物、生活に関連したもの)	美術	作品の完成度を上げる
社会	生徒の学習意欲を高めるわかりやすい説明	音楽	合唱力(歌唱力)の向上 (混声合唱への興味付け)
理科	ICT機器などの活用の工夫 (視覚的教材の活用)	技術	授業に関連した日常生活内や身近にある物や写真を見せる。
英語	デジタル教科書の研究と実践 大きな声でリーディング 小テスト・反復練習を活用した学力定着	家庭	授業の最後に今日の授業内容について書かせることで、集中して学習できるようにし、次の授業にも生かせるようにする。